

県内経済の基調判断

2024年5月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

この間、企業の景況感は総じて持ち直しの動きとなっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年3月	4月	5月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている <u>(下方修正)</u>	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている <u>(据え置き)</u>	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている <u>(据え置き)</u>
生産	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている	<u>振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる</u>
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	<u>持ち直しの動きが鈍化している</u>	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年7~9月	10~12月	2024年1~3月
企業の景況感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

77B I (暫定値)は、持ち直しに向けた動きとなっている。

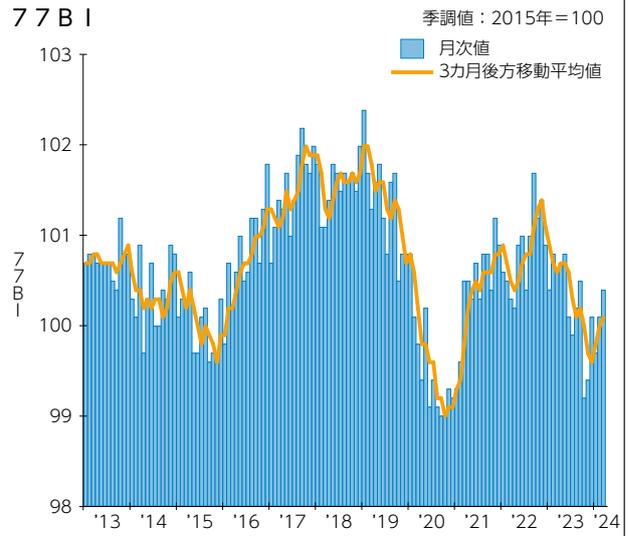
3月の77B I (暫定値)は、前月比0.3ポイント上昇の100.4となった。

採用指標別にみると、宮城県消費動向指数は前月比低下したが、建築物着工床面積、有効求人倍率は前月比上昇した。また、2月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.1ポイント上昇の100.1となった。

なお、2023年度の77B Iは、前年度比0.8ポイント低下の100.1となり、3年ぶりに前年度を下回った。

77B I



出典：当社作成 (以下も同じ)

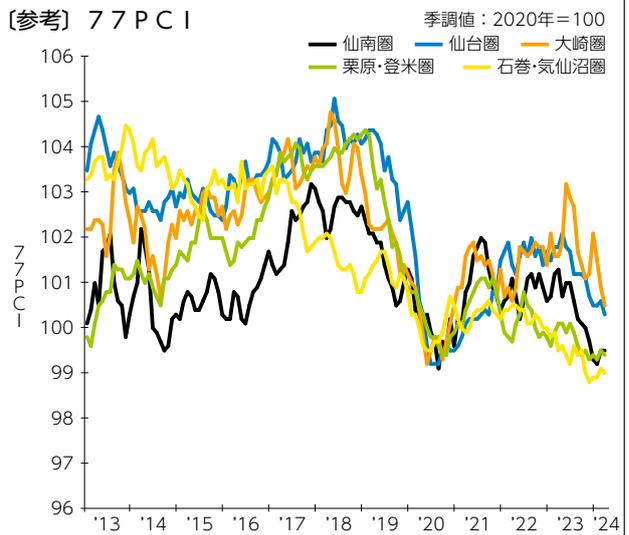
77B I (季節調整値、2015年=100)

	2024年1月	2月	3月
B I 値	99.7	100.1	100.4
鉱工業生産指数	89.1	94.7	94.7
宮城県消費動向指数	106.0	111.8	106.5
建築物着工床面積	53.2	41.5	147.0
有効求人倍率	99.5	96.5	99.5

[参考] 77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年1月	2月	3月
仙南圏	▲ 0.1	0.3	0.1
仙台圏	▲ 0.04	0.1	▲ 0.3
大崎圏	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.4
栗原・登米圏	▲ 0.2	0.2	▲ 0.1
石巻・気仙沼圏	▲ 0.1	0.3	▲ 0.1

[参考] 77P C I



出典：当社作成 (以下も同じ)

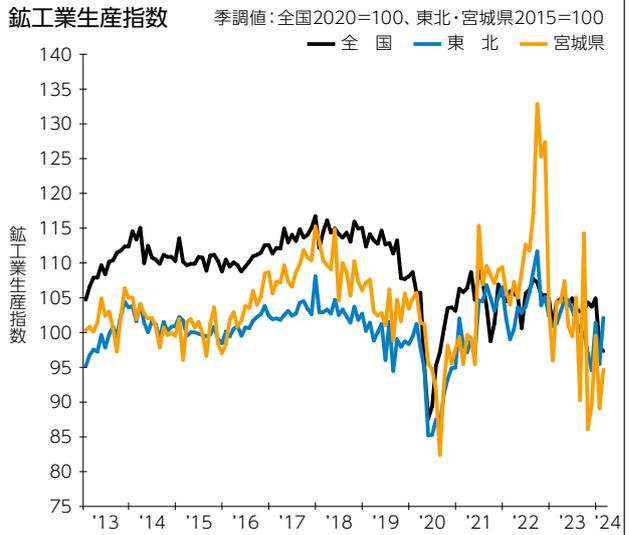
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

2月の鉱工業生産指数は、前月比6.3%上昇の94.7となった。業種別にみると、輸送機械工業が前月比プラスとなったことなどから、2カ月ぶりに前月を上回った。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比6.3%の低下となり、10カ月連続して前年を下回っている。

鉱工業生産指数



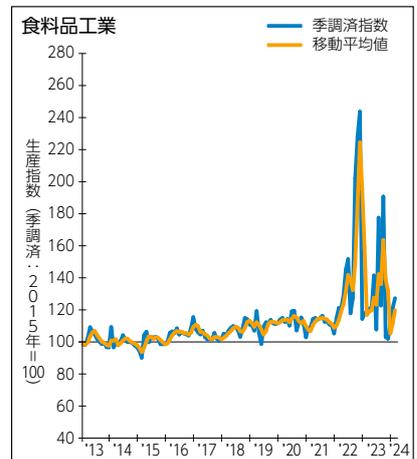
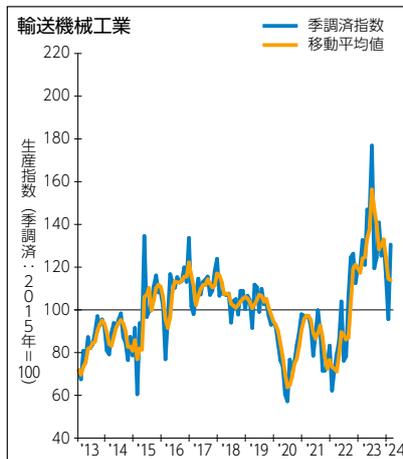
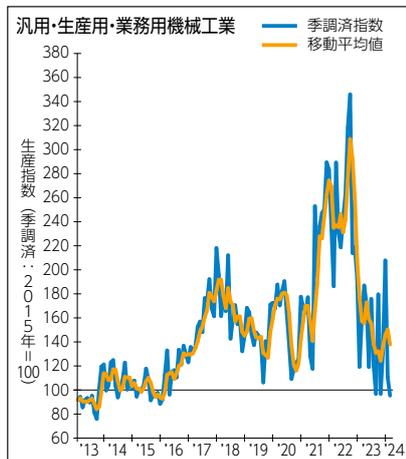
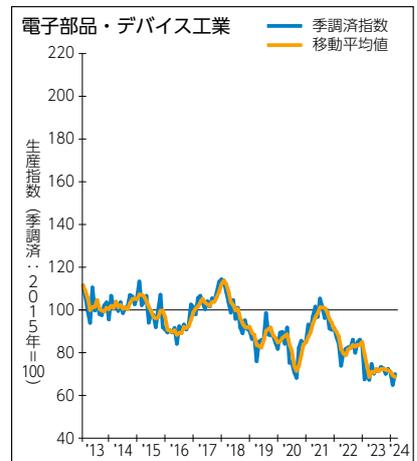
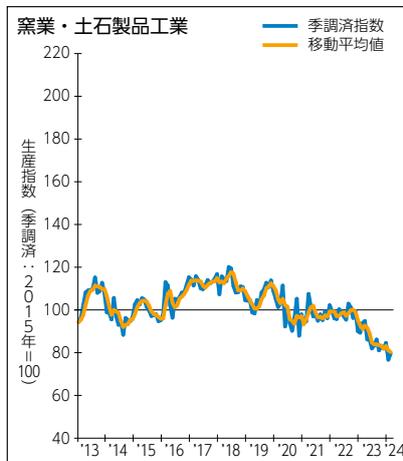
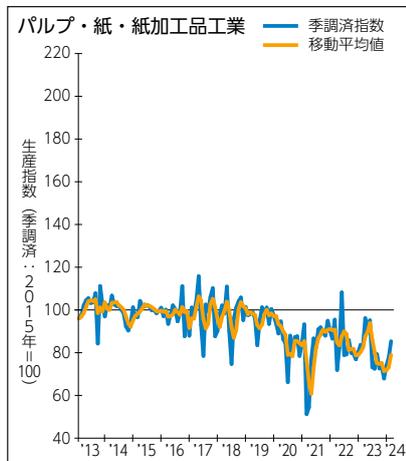
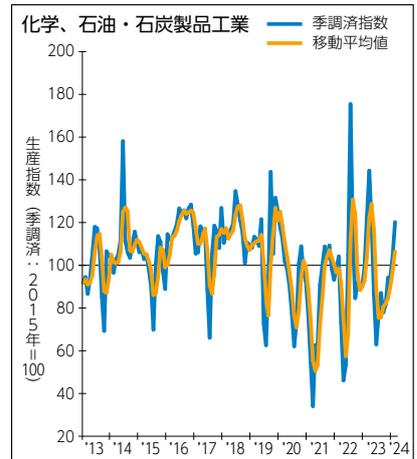
出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数 (宮城県・東北2015年=100、全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	99.6	89.1	94.7
(前年比)	▲ 5.5	▲ 5.5	▲ 6.3
東北	101.5	95.5	102.2
(前年比)	▲ 2.6	▲ 3.9	▲ 0.1
全国	105.0	98.0	97.4
(前年比)	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 3.9

主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2023年12月	2024年1月	2月
化学、石油・石炭製品工業	94.5	104.6	120.3
(前年比)	5.8	4.0	▲ 4.9
パルプ・紙・紙加工品工業	73.8	77.7	85.3
(前年比)	▲ 6.8	▲ 8.2	5.3
窯業・土石製品工業	84.5	76.6	79.5
(前年比)	▲ 8.2	▲ 12.3	▲ 13.9
電子部品・デバイス工業	70.9	64.8	69.9
(前年比)	▲ 17.6	▲ 1.3	2.0
汎用・生産用・業務用機械工業	207.8	110.4	95.1
(前年比)	2.2	▲ 2.1	▲ 38.3
輸送機械工業	115.6	95.6	130.6
(前年比)	▲ 5.4	▲ 18.7	▲ 2.8
食料品工業	110.9	121.1	127.3
(前年比)	▲ 2.9	2.8	7.6



建設動向

公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

公共工事

3月の公共工事請負金額は、前年同月比10.6%増の260億円となり、前月に引続き前年を上回っている。

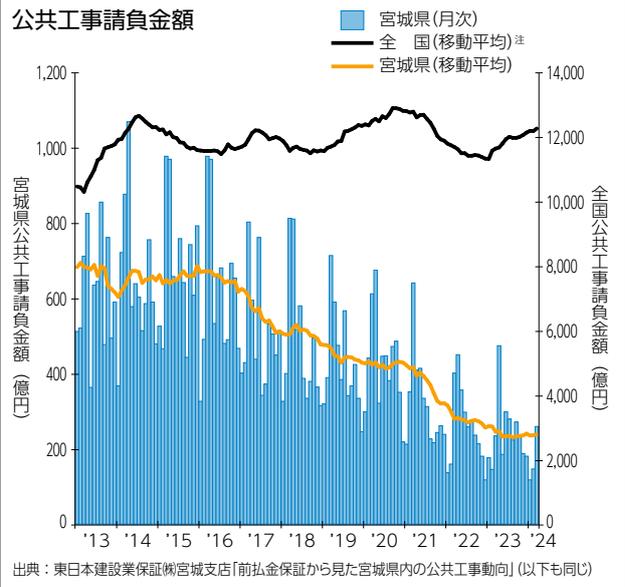
発注者別にみると、国の機関では、同21.7%増の103億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同2.0倍の76億円、市町村等は同28.2%減の81億円となり、全体で同4.3%増の156億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年3月の請負金額（276億円）と比べた水準は6.0%減となっている。

なお、2023年度の公共工事請負金額は、前年度比2.9%減の2,863億円となり、8年連続して前年度を下回っている。

公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
宮城県	▲ 33.4	0.7	10.6
国の機関	▲ 23.7	▲ 12.7	21.7
県	▲ 23.8	9.0	2.0倍
市町村等	▲ 42.4	1.5	▲ 28.2
全国	12.7	▲ 0.7	6.2

住宅建設

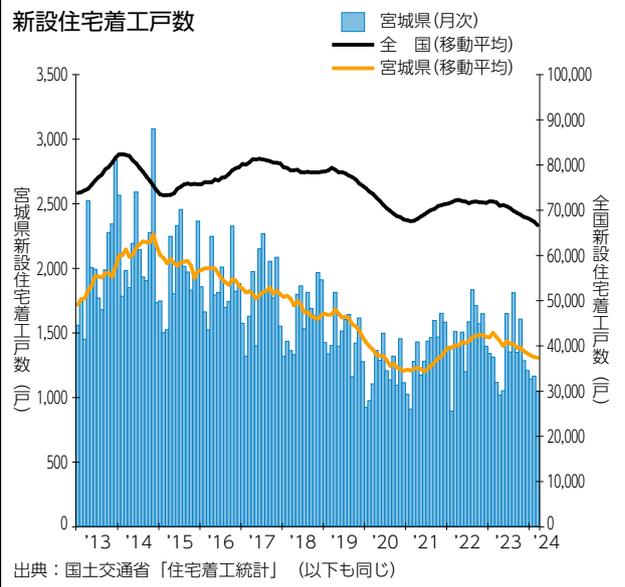
3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比6.5%減の1,043戸(全国12.8%減、64,265戸)となり、5カ月連続して前年を下回っている。

利用関係別にみると、貸家が同30.0%増(581戸)と前年を上回ったが、持家が同4.9%減(270戸)、分譲が同50.5%減(190戸)と前年を下回った。

また、震災前の2010年3月の着工戸数(913戸)と比べた水準は14.2%増となっている。

なお、2023年度の新設住宅着工戸数は、前年度比11.0%減の15,661戸(全国7.0%減、800,176戸)となり、3年ぶりに前年度を下回った。

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
宮城県	▲ 14.8	▲ 11.3	▲ 6.5
持家	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 4.9
貸家	0.3	33.1	30.0
分譲	▲ 30.8	▲ 64.3	▲ 50.5
全国	▲ 7.5	▲ 8.2	▲ 12.8

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
市部	▲ 15.6	▲ 15.2	▲ 9.6
うち仙台市	▲ 5.8	▲ 13.2	1.0
うち仙台市以外	▲ 35.7	▲ 21.0	▲ 29.1
郡部	▲ 6.1	21.1	15.7

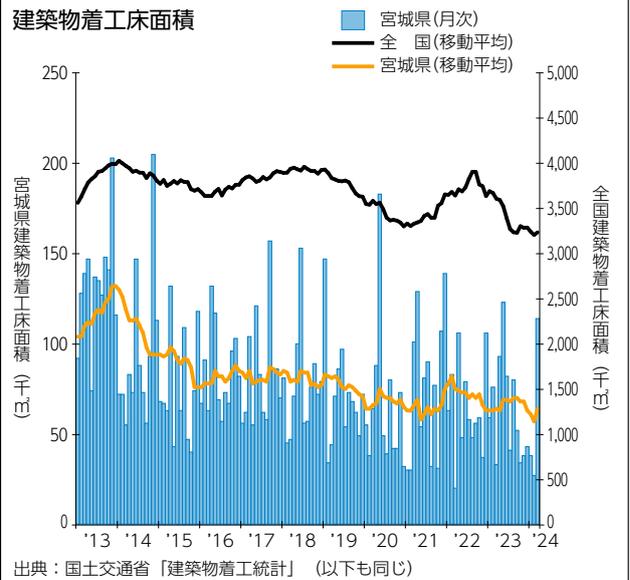
建築物着工

3月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比3.5倍の114千㎡、工事費予定額は同3.2倍の222億円となり、床面積、工事費予定額とも4カ月ぶりに前年を上回った。

用途別に床面積をみると、倉庫（30千㎡：前年同月比10.7倍）などが前年を上回った。

なお、2023年度の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年度比0.2%増の766千㎡、工事費予定額は同13.8%増の2,024億円となり、床面積、工事費予定額とも2年ぶりに前年度を上回った。

建築物着工床面積



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
宮城県	▲ 35.9	▲ 64.5	3.5倍
事務所	▲ 70.3	2.4倍	▲ 42.3
店舗	▲ 2.7	2.5倍	▲ 55.6
工場	3.5倍	▲ 36.8	▲ 70.1
倉庫	8.4	▲ 82.4	10.7倍
その他	▲ 87.0	▲ 67.0	5.5倍
全国	▲ 15.3	▲ 13.2	13.5

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
宮城県	▲ 41.0	▲ 60.8	3.2倍
事務所	▲ 70.5	2.2倍	▲ 45.4
店舗	14.1	2.5倍	▲ 61.3
工場	7.1倍	▲ 18.3	▲ 52.9
倉庫	▲ 6.0	▲ 85.9	18.9倍
その他	▲ 89.4	▲ 73.4	4.7倍
全国	15.4	6.5	55.9

消費動向

宮城県消費動向指数は概ね横ばい圏内で推移しており、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる動きとなっている。乗用車新車販売は強い下押しにより減少している。

消費動向指数

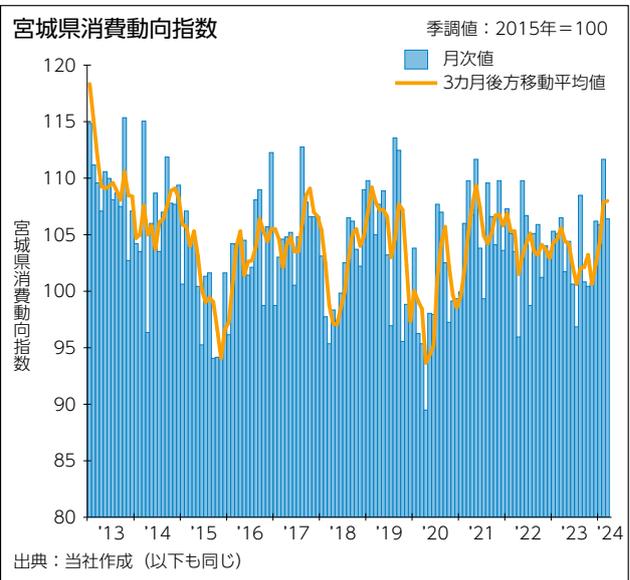
3月の宮城県消費動向指数は、前月比5.3ポイント低下の106.5となり、2カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「教養娯楽」「家具・家事用品」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.1ポイント上昇の108.1となった。

なお、2023年度の宮城県消費動向指数は、前年度比0.3ポイント低下の103.8となった。

宮城県消費動向指数



出典：当社作成（以下も同じ）

宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2024年1月	2月	3月
消費動向指数	106.0	111.8	106.5
家賃指数	110.7	110.6	110.5
乗用車販売指数	67.7	66.9	65.1
コア消費支出指数	121.0	128.7	120.6

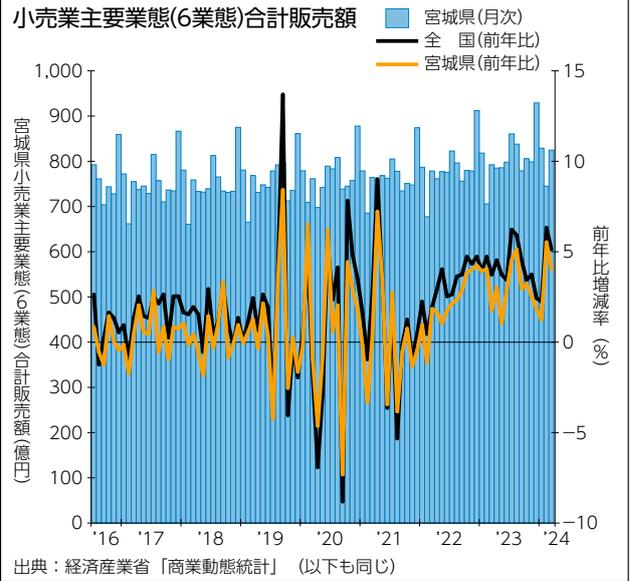
※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

3月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比4.1%増の828億円(全国5.2%増、4兆4,092億円)となり、25カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同4.8%増の354億円(全国6.8%増)となり、16カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同1.3%減の201億円(全国0.4%増)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。家電大型専門店は同12.4%増の71億円(全国6.3%増)となり、前月に引続き前年を上回っている。ドラッグストアは同9.3%増の146億円(全国8.7%増)となり、36カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同2.7%減の56億円(全国2.5%増)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
6業態合計(宮城県)	1.3	5.6	4.1
百貨店・スーパー	2.9	5.3	4.8
コンビニエンスストア	▲ 0.1	3.3	▲ 1.3
家電大型専門店	▲ 5.1	3.1	12.4
ドラッグストア	6.3	11.8	9.3
ホームセンター	▲ 6.4	1.0	▲ 2.7
6業態合計(全国)	2.3	6.4	5.2

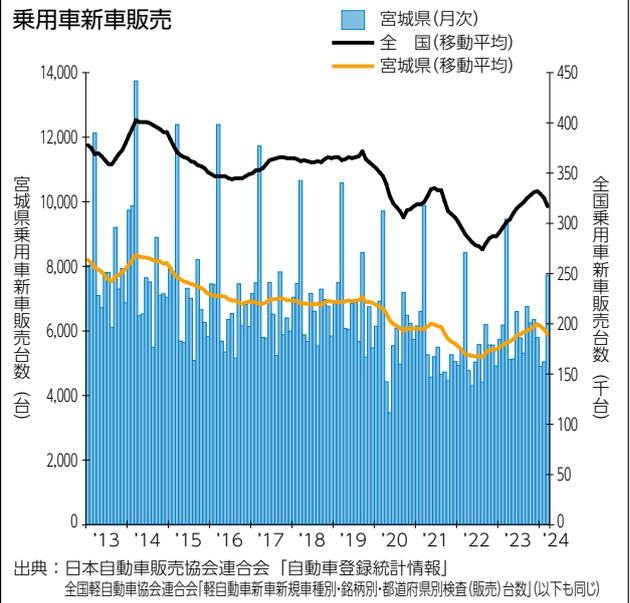
注) 全店ベース

乗用車新車販売

3月の乗用車新車販売台数は、前年同月比18.4%減(全国19.6%減)の7,722台となり、3カ月連続して前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同6.1%減(全国8.5%減)の3,653台となり、前月に引続き前年を下回っている。小型車は、同34.3%減(全国37.6%減)の1,852台となり、3カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同19.5%減(全国22.0%減)の2,217台となり、3カ月連続して前年を下回っている。

なお、2023年度の乗用車新車販売台数は、前年度比4.5%増の70,665台(全国5.4%増、3,801,994台)となり、前年度に引続き前年度を上回っている。

乗用車新車販売



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

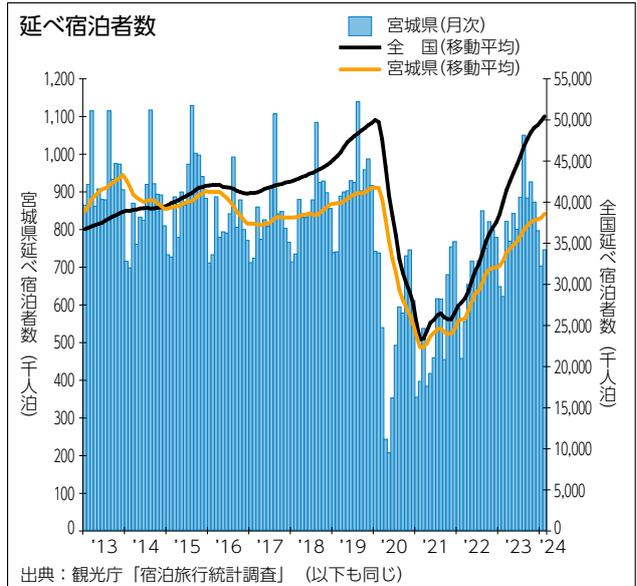
	2024年1月	2月	3月
宮城県	▲ 14.7	▲ 18.5	▲ 18.4
普通車	3.8	▲ 9.2	▲ 6.1
小型車	▲ 26.5	▲ 34.3	▲ 34.3
軽乗用車	▲ 22.9	▲ 16.0	▲ 19.5
全国	▲ 10.8	▲ 16.3	▲ 19.6

観光動向

2月の延べ宿泊者数は、前年同月比19.9%増の746千人泊となり、28カ月連続して前年を上回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同4.4%増の182千人泊と7カ月ぶりに前年を上回り、県外宿泊客は同11.8%増の471千人泊と23カ月連続して前年を上回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同3.2倍の74千人泊となり、19カ月連続して前年を上回っている。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	797	703	746
うち県内客	247	203	182
うち県外客	485	428	471
うち外国人	54	63	74
全国	50,735	45,650	47,848
うち外国人	12,303	11,235	11,517

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

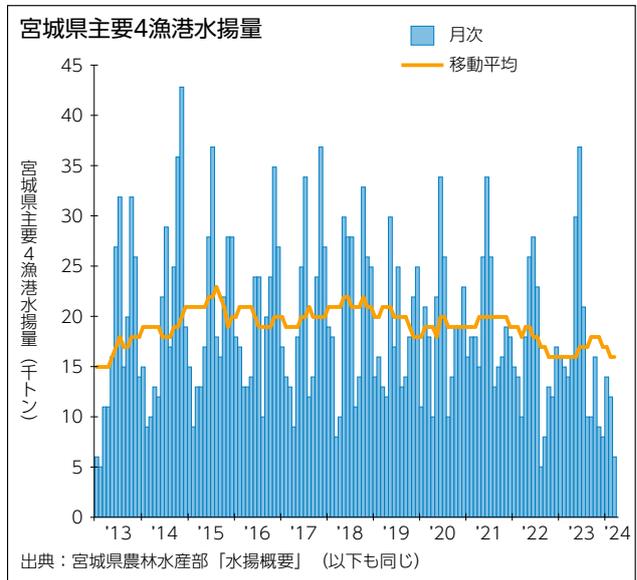
	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	2.4	8.6	19.9
うち県内客	▲ 12.8	▲ 8.9	4.4
うち県外客	3.4	10.3	11.8
うち外国人	3.5倍	2.7倍	3.2倍
全国	7.8	15.6	16.3
うち外国人	2.1倍	85.5	94.2

水産動向

3月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚げは、数量が前年同月比56.9%減の6千トン、金額が同29.1%減の21億円となり、数量は5カ月連続して、金額は4カ月連続して前年を下回っている。

魚種別にみると、数量はマイワシ、金額はマグロ類などが減少した。

漁港別にみると、数量、金額とも全ての漁港で前年を下回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
合計	▲ 12.0	▲ 22.0	▲ 56.9
塩釜	3.6倍	▲ 25.2	▲ 42.7
石巻	▲ 21.2	▲ 25.9	▲ 42.4
気仙沼	▲ 8.5	19.9	▲ 52.5
女川	▲ 26.5	▲ 39.6	▲ 83.3

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
合計	▲ 20.3	▲ 2.6	▲ 29.1
塩釜	49.8	▲ 11.5	▲ 39.8
石巻	▲ 42.5	▲ 5.6	▲ 19.8
気仙沼	▲ 27.4	13.7	▲ 13.0
女川	2.0	▲ 5.6	▲ 68.0

貿易動向

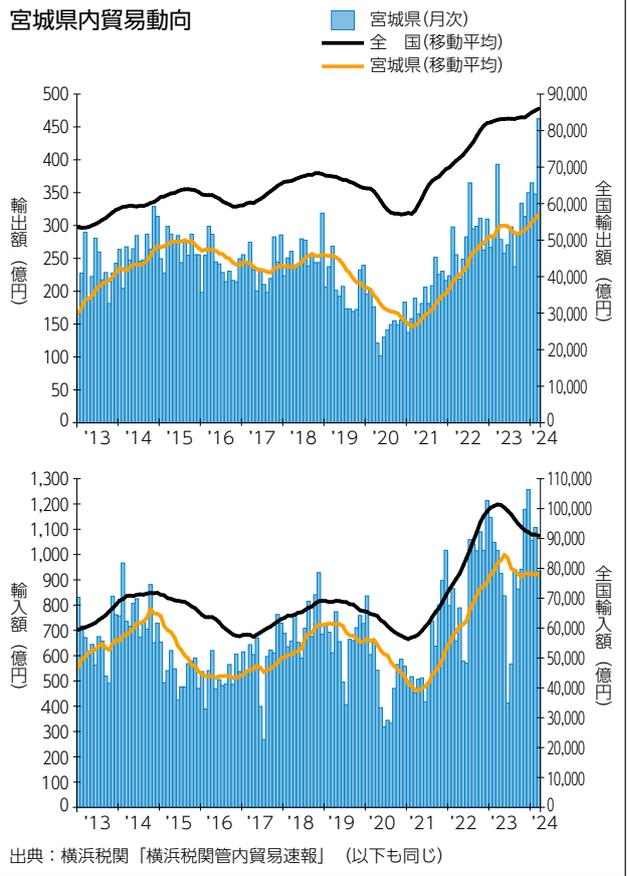
3月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比17.6%増の461億円、輸入が同8.0%減の932億円となった。

輸出は電池が増加したことなどから6カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は液化石油ガスが減少したことなどから2カ月ぶりに前年を下回った。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年1月	2月	3月
宮城県	輸出	36.8	22.6	17.6
	輸入	▲ 7.8	5.7	▲ 8.0
全国	輸出	11.9	7.8	7.3
	輸入	▲ 9.7	0.5	▲ 4.9

宮城県内貿易動向



物価動向

3月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.3%上昇の108.8となり33カ月連続して前年を上回っている。

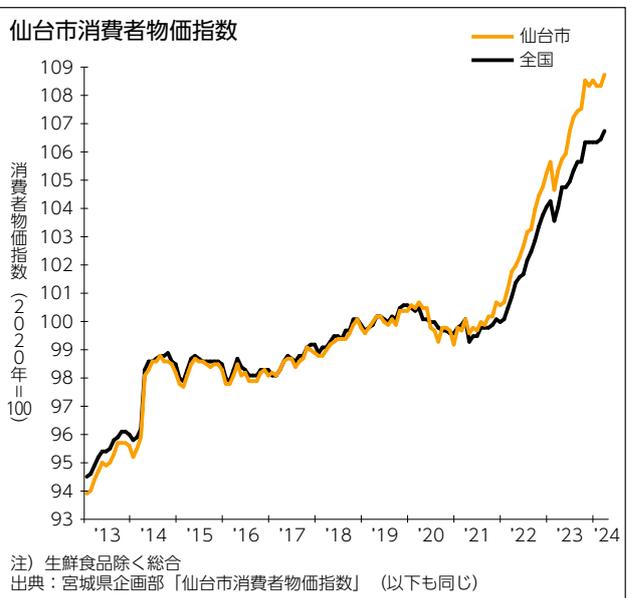
費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

なお、2023年度の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年度比3.5%上昇の107.7となり、3年連続して前年度を上回っている。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
生鮮食品を除く食料	6.7	6.2	5.2
住居	1.7	1.5	1.5
光熱・水道	▲ 12.5	▲ 1.2	▲ 0.6
家具・家事用品	4.0	2.3	▲ 0.1
被服および履物	6.1	4.7	3.2
保健医療	3.6	2.2	2.4
交通・通信	3.7	3.6	3.7
教育	0.4	0.4	1.6
教養娯楽	6.4	7.4	8.2
諸雑費	1.3	1.3	1.4

仙台市消費者物価指数



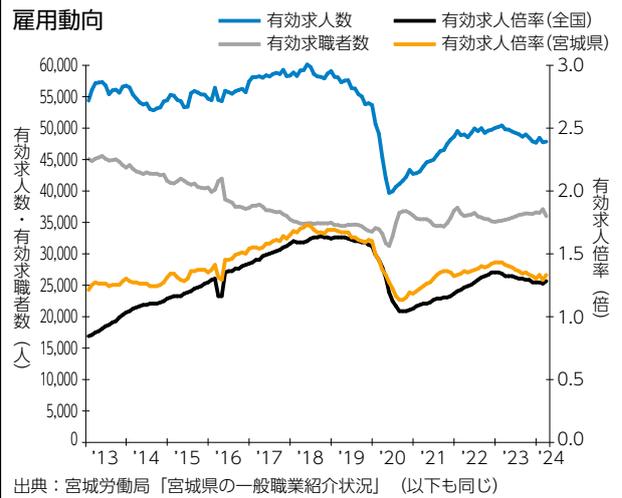
注) 生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」(以下も同じ)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月
仙台市	2.6	3.5	3.3
全国	2.0	2.8	2.6

雇用動向 雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

3月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数が減少したことなどから、前月比0.04ポイント増加の1.33倍となった。
 また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて宿泊業・飲食サービス業などが減少した。
 有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.55倍）、石巻、築館（ともに1.40倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.69倍）、塩釜（0.73倍）などは1倍を下回っている。
 なお、2023年度の有効求人倍率は、前年度比0.06ポイント低下の1.34倍となり、3年ぶりに前年度を下回った。



有効求人倍率等 (倍、%)

	2024年1月	2月	3月
有効求人倍率(宮城県)	1.33	1.29	1.33
(全国)	1.27	1.26	1.28
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 5.9	▲ 8.6	▲ 4.1

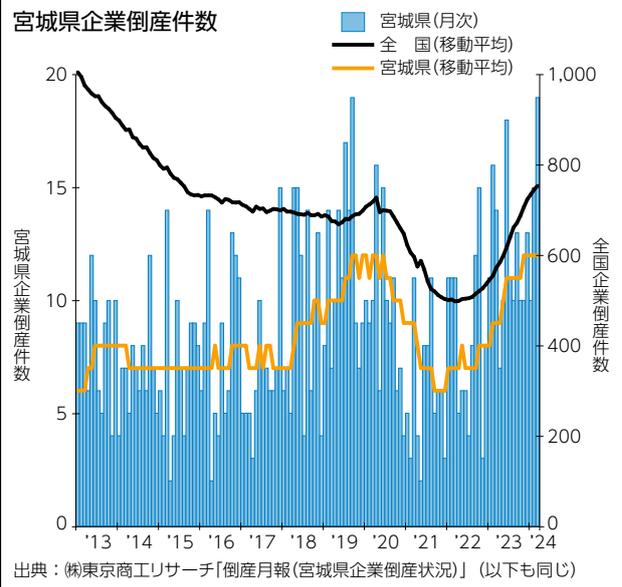
注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2024年1月	2月	3月
気仙沼	1.27	1.19	1.21
石巻	1.59	1.54	1.40
塩釜	0.90	0.83	0.73
仙台	1.62	1.58	1.55
大和	1.58	1.48	1.37
古川	1.20	1.16	1.07
築館	1.60	1.36	1.40
迫	0.97	0.97	0.88
大河原	0.70	0.81	0.69
白石	1.28	1.27	1.27

倒産動向 3月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比35.7%増の19件、負債額では同3.9%増の27億円となった。

倒産企業を業種別にみると、サービス業他が6件、建設業が4件などとなっている。
 主因別では、販売不振が16件などとなっている。
 地域別では、仙台市が12件などとなっている。
 なお、2023年度の企業倒産は、件数では前年度比38件増の146件と前年度に引続き前年度を上回っており、負債額では同2億円減の223億円と3年ぶりに前年度を下回った。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

	2024年1月	2月	3月	
宮城県	件数	10	15	19
	負債額	2,376	2,982	2,744
全国	件数	701	712	906
	負債額	79,123	139,596	142,252

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

	2024年1月	2月	3月	
宮城県	件数	▲ 9.1	▲ 6.3	35.7
	負債額	2.0倍	4.5倍	3.9
全国	件数	23.0	23.4	12.0
	負債額	40.0	44.5	▲ 3.5

人口動向

4月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比16,149人減の224万8,772人となり、36カ月連続して前年を下回っている。

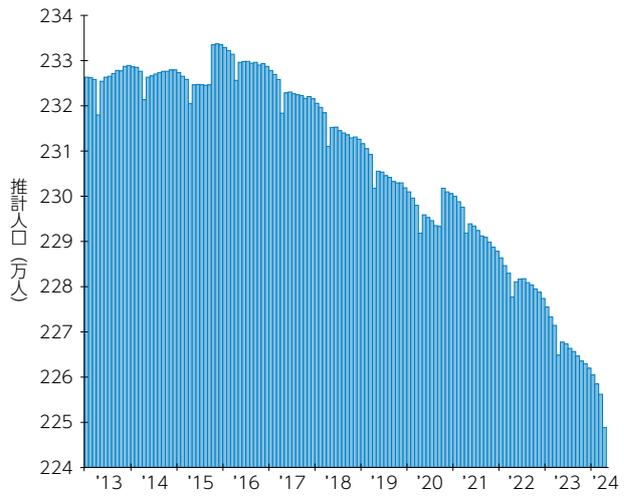
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,477人減、社会増減は328人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、富谷市（163人増）、名取市（146人増）の2市、減少したのは石巻市（2,082人減）、仙台市（1,812人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では9万8,081人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万5,971人増）、名取市（5,252人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万7,723人減）、気仙沼市（1万6,590人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年2月	3月	4月
総人口	2,258,481	2,256,191	2,248,772
自然増減	▲ 1,870	▲ 1,687	▲ 1,740
社会増減	▲ 157	▲ 603	▲ 5,679

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月 ①	2023年4月 ②	2024年4月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月 ①	2023年4月 ②	2024年4月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
宮城県	2,346,853	2,264,921	2,248,772	▲ 16,149	▲ 98,081	村田町	11,939	10,193	10,019	▲ 174	▲ 1,920
仙台市	1,046,737	1,094,520	1,092,708	▲ 1,812	45,971	柴田町	39,243	37,483	37,136	▲ 347	▲ 2,107
石巻市	160,394	134,753	132,671	▲ 2,082	▲ 27,723	川崎町	9,919	7,961	7,771	▲ 190	▲ 2,148
塩釜市	56,221	50,898	50,493	▲ 405	▲ 5,728	丸森町	15,362	11,358	11,030	▲ 328	▲ 4,332
気仙沼市	73,154	57,887	56,564	▲ 1,323	▲ 16,590	亘理町	34,795	32,761	32,551	▲ 210	▲ 2,244
白石市	37,273	31,305	30,473	▲ 832	▲ 6,800	山元町	16,608	11,650	11,488	▲ 162	▲ 5,120
名取市	73,603	78,709	78,855	146	5,252	松島町	15,014	12,858	12,613	▲ 245	▲ 2,401
角田市	31,188	26,742	26,402	▲ 340	▲ 4,786	七ヶ浜町	20,353	17,506	17,370	▲ 136	▲ 2,983
多賀城市	62,990	62,515	62,231	▲ 284	▲ 759	利府町	34,279	35,039	34,974	▲ 65	695
岩沼市	44,160	43,583	43,481	▲ 102	▲ 679	大和町	25,366	28,593	28,403	▲ 190	3,037
登米市	83,691	72,732	71,258	▲ 1,474	▲ 12,433	大郷町	8,871	7,569	7,389	▲ 180	▲ 1,482
栗原市	74,474	61,179	59,825	▲ 1,354	▲ 14,649	大衡村	5,361	5,580	5,487	▲ 93	126
東松島市	42,840	38,200	37,685	▲ 515	▲ 5,155	色麻町	7,406	6,364	6,230	▲ 134	▲ 1,176
大崎市	134,950	123,603	121,910	▲ 1,693	▲ 13,040	加美町	25,421	20,908	20,511	▲ 397	▲ 4,910
富谷市	47,501	51,383	51,546	163	4,045	涌谷町	17,399	14,612	14,241	▲ 371	▲ 3,158
蔵王町	12,847	10,874	10,695	▲ 179	▲ 2,152	美里町	25,055	23,149	22,797	▲ 352	▲ 2,258
七ヶ宿町	1,664	1,171	1,161	▲ 10	▲ 503	女川町	9,932	6,095	6,011	▲ 84	▲ 3,921
大河原町	23,465	23,559	23,387	▲ 172	▲ 78	南三陸町	17,378	11,629	11,406	▲ 223	▲ 5,972

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数